



なか お みち たか
中尾通孝

兵庫教育大学附属小学校教諭(情報教育担当)

子どもが長時間にわたって
ネットやゲームをしていると、
保護者から相談を受けました。
学校はどう対応すればいいですか。

長

時間のネットやゲームが生活習慣となつてしまっているので、改善には少し時間がかかるかもしれません。まず、そういう子どもの学

校生活での支障を把握してみましよう。例えば、遅刻する、授業中に居眠りをする、忘れ物が多いなどが挙げられます。学校生活を送る上で必要な睡眠や翌日の準備に充てるべき時間が、ネットやゲームに奪われているから起こるのです。人間関係がうまく築けない子どももいるかもしれません。

なったことを褒めたりしながら自信を持って生活できるようにすることが大切です。

ただ、一時的に良くなつても、またできなくなる人が多いです。なぜなら、生活習慣がまだ改善されていないからです。そこで、大切なことは二つの方法「保護者と一緒に育てる」です。教員は生活習慣について直接指導できません。子どもが困っている様子を保護者に伝え、保護者と共に改善を図ることが必要です。

さらに、「ネット」というキーワードがあれば、ネット社会での過ごし方の指導もしたいものです。ネット社会は目に見えない世界です。目に見える現実例えて指導することが分かりやすいと思います。長時間ネットをしているということは、おそらく子どもだけでやっているというのでしょうか。それは、多くの見知らぬ人が行き交う知らない世界に子どもが一人で置き去りにされたことと同じではないでしょうか。

学校生活で困り始めたということは、子どもにとってピンチなのですが、新しいことを学ばせるチャンスでもあります。そのような見方で一緒に成長したいと考えています。



キャンパストピックス

CAMPUS TOPICS

濱中准教授と加藤准教授が 学会奨励賞を受賞



濱中裕明准教授(認識形成系教育コース[自然科学教育分野(数学)])と加藤久恵准教授(小学校教員養成特別コース)が共著論文「高校における構造指向の数学的活動に関する考察」で、全国数学教育学会の平成25年度学会奨励賞を受賞。同賞は優れた研究実績を挙げた若手研究者に贈られるもので、濱中准教授は「数学から数学教育への歩み寄りが続けてきたことが実り、うれしく思います」と喜びを語った。

吉水教授が 日本地理学会賞を受賞

吉水裕也教授(授業実践開発コース)が2013年度日本地理学会賞(地理教育部門)を受賞した。同賞は、地理教育の研究または普及や発展に顕著な功績を残した個人に贈られるもの。吉水教授は「皆さまに支えていただいたおかげと感謝しております。残念ながら授賞式には出席できませんでしたが、喜びをかみしめております」とコメントした。



博士課程の瀧井さんが 不安障害学会学術大会で受賞

第6回日本不安障害学会学術大会で、全国から寄せられた演題の中から博士課程3年の瀧井美緒さんの「外傷後ストレス症状および対処行動に対する理解についての検討—トラウマ体験の有無による比較—」がポスターセッションに進む67演題の一つに選ばれ、審査の結果、若手優秀演題賞を受賞。瀧井さんは一昨年に続いて2度目の受賞となった。

